

項目	内容
名称	テンダイウヤク [英]Lindera, Black medicine, Chinese allspice [学名]Lindera strychnifolia, Lindera aggregata
概要	テンダイウヤクは、中国中部原産の常緑低木。中国で広く栽培され、日本でも庭木として植栽されている。国内では、根が医薬品として使用される成分本質に該当するため、根を食品に使用することはできない。
法規・制度	<p>■ 食薬区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・根：「専ら医薬品として使用される成分本質（原材料）」に該当する。</li> <li>・葉、実：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質（原材料）」に該当する。</li> </ul> <p>■ 日本薬局方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テンダイウヤク (Lindera strychnifolia FernandezVillar (Lauraceae)) が収載されている。</li> </ul>
成分の特性・品質	
主な成分・性質	・セスキテルペン（リンデレン、リンデララクトン、リンデロリドA~G、リンデネン、リンデネノン）などを含む（101）。
分析法	-

有効性	
循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
肥満	調べた文献の中に見当たらない。
その他	調べた文献の中に見当たらない。
参考文献	(101) 健康・機能性食品の基原植物事典 中央法規 (22) メディカルハーブ安全性ハンドブック第1版 東京堂出版林真一郎ら監訳 (91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS). (30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について)